少年センターだより

平成２８年９月１日
発　行
日野町少年センター
日野町河原１丁目１番地
TEL/FAX　0748-53-1325
http://www.rmc.ne.jp/h.g-s.c

「かけがえのない「ひのっ子」との“斜めの関係”づくり」

日野町立日野小学校　安田寛次

子どもたちの元気な声が校庭に戻ってきました。２学期の始まりです。運動会や社会見学、様々な体験活動等を通して、子どもたちがより一層たくましくなる時期です。今学期も皆様には、何かとお世話になりますが、どうかよろしくお願いします。

さて、子どもたちは、日々、色々な「人と人との関係性」の中で、生活をしています。

親子や教師と生徒、上級生という「縦の関係」、同じ学年やクラスメート、習い事での友達という「横の関係」、そして、もう一つが、縦でも横でもない「斜めの関係」です。

地域の方々からの声かけというのは、まさに、この「斜めの関係」からの声かけです。そんな斜めの関係の方から、「行ってらっしゃい」「おかえり」「元気か・・」等々のお声かけをいただき、多くの方々に見守られて、「自分は大事にされているんやなあ～」という感情をできる限り、多くの子どもに感じ取ってほしいです。

自分が大事にされているという「自尊感情」が高い子どもは、他者をも大事にし、友達にひどい言葉も発しないと思います。

家庭や地域の「安全・安心」がベースになって、子どもたちは成長します。子どもの心の安定には、大人からの「優しい声かけ」や「愛情ある厳しさ」、「あたたかな安心感」が不可欠です。

２学期以降においても、ＰＴＡの皆様をはじめ、地域の皆様方には、かけがえのない「日野の宝」である「ひのっ子」のために、「斜めの関係」からのお声かけをどうかよろしくお願いします。

歩きスマホは事故のもと

７月２２日から日本でも配信されたスマートフォン向けゲーム「ポケモンＧＯ」はあっという間に広がり、８月にはスマホ利用者の５人に１人がすでにプレイしていると言われています。

このゲームは、屋外で遊ぶことが前提のゲームで、屋外で「ポケモＧＯ」で遊んでいて起こったとみられる事故やトラブルが発生しています。

日野町においても、ポケストップやジムがどこにあるという情報は子どもたちやゲームをしている人はよく知られており、ある民家にポケモンが出現するという情報まであるようです。また、自転車に乗りながらスマホを見ていたら倒れた（自転車に乗りながらスマホをするのは交通ルール違反です）や歩きながらゲームをしていて自動車に当たりそうになったという高校生もいます。

今、子どもたちの間でどんなゲームが流行っていて、どんな危険性があるのか、どんなことに注意をして遊べばよいのか知ったうえで、家庭で話し合いましょう。

9月の活動予定

２日　街頭補導
９日　街頭補導
１３日　有害図書等立入調査
１５日　少年補導委員会幹事会
１６日　街頭補導
２３日　街頭補導
２４日　少年ｾﾝﾀｰ連絡協議会研修会
２７日　有害図書等立入調査
３０日　街頭補導

センター職員随時パトロール

県教育委員会からは、「スマートフォン向けゲームに係る児童生徒の事故の未然防止について」の通知が出されています。また、国からも「ポケモンＧＯ」に対する注意喚起がされています。下の表もその一つです。みんなで事故やトラブルに巻き込まれないよう気を付けましょう

内閣サイバーセキュリティセンターから　ポケモントレーナーのみんなへおねがい♪

ロケット団だけでなく、みんなの行く手にはさまざまなトラブルが待ち受けています。
みんなが楽しくニコニコとゲームを楽しめるように、以下のことについて協力してね！

1．個人情報を守ろう

トレーナー登録するときは、本名とは違う、いかしたニックネームを付けましょう。家が特定されます。ニックネームに本名がわかるものを使うと、あなたを追いかけようとする人が出てくるかも。

SNS に写真を投稿するときは、家の近くのものはやめておきましょう。家が特定されます。

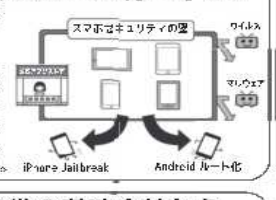
またが写真には GPS 情報が付かないように設定しましょう。

2．偽アプリ、チートツール注意

人が多く集まるコンテンツは、悪いハッカーには絶好のターゲット！

マルウェア（＝ウイルス）入りの偽アプリがあったり、攻撃のいとぐちになるチートツールも登場するでしょう。「裏技があるから、ここを見て！」というのも罠かも。

また、アプリは公式ストアから正規のものを利用しましょう。



3．お天気アプリは必ず入れよう

外で遊ぶゲームだからこそ、天候には十分注意しましょう！

警報を受信できるお天気アプリを必ず入れて、警報などが出た場合はハンティングはお休みしましょう。

特に「特別警報」は「ただちに命を守る行動」が求められます。

また海岸沿いの探索は、常に避難場所を気にかけましょう。

4．熱中症を警戒しよう

炎天下を歩き回るときは「熱中症」を警戒しましょう。熱中症の症状をよく勉強して理解し、定期的に日陰での休憩や、塩分を含む水分摂取を行いましょう。水だけを飲んでいては×です。

帽子や日傘などは有効です。

汗をかくとき、スマホを服の中に入れていると湿気が入ってしまいますが、みなさんはスマホを手に持つので大丈夫ですね。

5．予備の電池を持とう

位置情報ゲームは常に GPS 情報を利用するので、大量に電池を消費します。そのためいつもよりかなり早く電池切れになってしまいます。

スマホはゲームだけでなく重要な連絡手段でもあるので、電池切れで電話ができなくなったりしないように、予備の電池（モバイルバッテリー）や充電器を持ち歩きましょう。

休憩時にコンセントを使わせてもらえるなら、きちんと許可を取ってこまめに充電を行いましょう。無断利用はダメです。

6．予備の連絡手段を準備しよう

スマホの電池がなくなって、電話をかけられなくなった時のために、テレフォンカードを持ち、公衆電話の使い方を調べておきましょう。

子供たちだけで出かけるときは、迷子になってしまったときのため、出発前にパパかママに全身の写真を撮ってもらっておきましょう。

探してもらう時に、特徴を伝えてもらいやすくなります。

7．危険な場所には立ち入らない

すでに開始されている国では、ゲームをやりながら歩いていて、虫にひかれたり、池に落ちたり、蛇にかまれたり、強盗にあったりという事件が起きています。地形や治安が危険な場所には立ち入らないようにしましょう。

国によっては発砲事件も起きていますし、カメラを向けただけで拘束される場所もあるので海外では注意しましょう。

8．会おうという人を警戒しよう

ゲームにかこつけて会おうという人には十分に警戒してください。

どうしても会わないといけないときは、おとなと一緒に行きましょう。

また人気のない場所での探索は避けましょう。別の意味でのモンスターがいるかもしれません。

9．歩きスマホは × ですよ

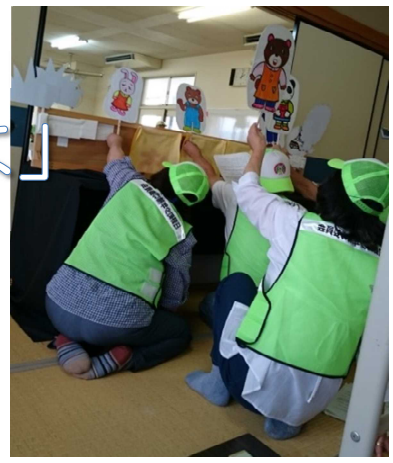
歩きスマホをしていてたくさんの事故が起こっています。駅のホームでは電車に接触してけがをした例もあります。歩きスマホは大変危険なのです。

ゲームにはモンスターが現れるとスマホが震えるモードもあるそうですから有効活用して、震えたら立ち止まり、周りを確認してから見るようにしましょう。

自転車に乗りながらのプレイももちろんダメですよ。

非行防止教室

「おみせのものをとったらどろぼうですよ」



７月１９日（火）日野小学校１、２年生対象に非行防止教室「おみせのものをとったらどろぼうですよ」を開催しました。

これは、非行が低年齢化していると言われており、その非行の始まりともいわれる万引きを小さい時からダメだと知ってもらおうと、日野町少年補導委員会が、小学校低学年までに分かるように紙人形劇にして練習してきたものです。劇には、くまおやうさこが登場し、お店にいくら欲しいものがあってもお金を払わないで持って行ってはダメと呼びかけ、みんなで約束しました。

また、東近江警察署のから「友達の物を黙って勝手に使わない。」「お店の物はお金を払わないで持って行かない」「出かける時は家の人に行き先を伝える」など話がありました

“ペープサート”活動について　　少年補導委員　竹村一男

少年補導委員として、毎週金曜日の夕方に青色パトロール車による「愛の声かけ」を主な活動として、町内をパトロールしていますが、４年ほど前からペープサート（紙人形劇）による啓発活動を町内幼稚園児を対象に行っています。今年度は、７月１９日（火）に初めて小学生を対象に日野小学校１、２年生に「万引き」についての公演を行いました。「万引き」とは、店の品物をだまって盗る事で、家の物、友達の物等をだまって盗ることともに大変悪いことです。この事をペープサートにして、くまさんやうさぎさん等の親しみのあるキャラクターで演出して判り易い劇に仕上げました。

東近江警察署からも３名の出席をいただいて「悪いことをしたら子どもでもおまわりさんも捕らえて怒ります」といった話に真剣な表情で聞いていました。

近年若年層による凶悪な事件が頻発しておりとても不安に思いますが、幼少期の道徳教育は大変重要だと思います。

今回の日野小学校１、２年生も「万引き」という言葉は少し早くても、何気なく人の物を盗る事は悪い事なのだという事が判りやすく理解できたのでは・・・と思っております。

今は、二つの演目を持って活動中ですが、今世間で深刻な社会問題である「いじめ問題」についても取り組めないかと考えております。

少年補導委員研修

平成２８年７月２６日、日野町少年補導委員会では奈良少年刑務所へ研修に行きました。奈良少年刑務所は、明治４１年に建設された煉瓦作りの建物で、明治政府が全国に建設した「五大監獄」で唯一現存する建築物ですが、老朽化により今年度で収容が廃止されるそうです。地元の住民団体等から保存を求める声が上がっているほどの建物ですが、高い塀には圧倒されます。ここには、２６歳未満の受刑者が収容されていて、罪を犯した人が二度と犯罪を繰り返さないよう「矯正指導」がされています。

奈良少年刑務所を見学して　　少年補導委員　町田絹子

私は今、リオ２０１６オリンピックと第９８回全国高校野球の真っ只中のテレビの前で、この原稿を書いています。８月５日のリオオリンピックの開会式には、日本チーム４００人以上の参加者が、金メダルめざし、また甲子園球場では、全国の都道府県代表が優勝をめざして、一生懸命戦う姿。

それとは反対に、７月２６日見学させていただいた奈良少年刑務所には、現在４０６名の受刑者が、刑を受けて生活しています。

奈良少年刑務所の外観は、「これが刑務所」？赤レンガ作りで、博物館かなと思うほどです。

しかし、中に入り中央の監視台からは、全５棟の受刑者がすべて見える作りになっていてまさに監獄。冷房設備のない刑務所で、規則正しく起き、声を出しての作業などその姿を見て複雑な気持ちになりました。私達補導委員は、だれもここへ送らないよう、また曲がった道に進まないよう、日々見守る仕事なんだと強く思いました。

夜間巡回パトロール

氏郷まつり夏の陣２０１６

日野町少年補導委員会では、八月六日に開催された「氏郷まつり夏の陣二〇一六」において、午後七時半から十時まで会場内や周辺を夜間巡回パトロールを行いました。

当日は、大変暑い日でしたが、会場は若い親子や小学生、中学生等でいっぱいでした。午後七時半頃の周辺パトロールに続いて花火が終わった後パトロールでは、公園等で遊んでいる小中学生がいました。このような時期は、開放的になりやすく時間の経つのも忘れてしまいがちですので、「早く帰りなや！」「気を付けて帰りなや！」と言う声掛けとともに、花火をしている子には後始末をしかりするように声掛けをしました。

ひとりで悩まないでまずは相談を！

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。本人だけでなく、家族の方の相談も受けています。

また、無職少年の就労・就学の支援も行っています。高校を退学して、就労も就学もしないで家にいる、中学校（高校）を卒業して、就職したがすぐ辞めてしまい今は何もせず家にいる、中学校や高校でひきこもりで進路が決まっていない等の本人、家族の相談も受けています。

お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

〇電話相談　　〇面接相談　〇相談時間：月～金　9:00～16:30

日野町少年センター（日野町勤労福祉会館　2階）

電　話　0748－53－1325　　E-mail　hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp